

1-2-17 旧三島家住宅

岐阜県重要文化財（昭和 47 年 12 月 13 日指定）

白川郷一色村（現在の^{しらかわごういっしきむら} 荘川町一色^{しょうかわちょういっしき}）の豪農の住宅として宝暦 13 年（1763 年）に建てられたものである。当初は^{よせむねしきいり}寄棟式入母屋合掌造りの^{かやぶきやね}萱葺屋根であったが、明治 11 年（1878 年）^{くれいたがききりつまやね}樽板葺切妻屋根に改造されその後^{かわらぶきやね}瓦葺屋根となり、昭和 60 年（1985 年）現在地に移築された。また、江戸時代の^{めいわ}明和・^{あんえい}安永・^{てんめい}天明にかけて^{ひだいちえん}飛騨一円に起きた^{だいきぼ}大規模な^{ひやくしやういっ}百姓一揆「^き大原騒動^{おほはらそうどう}」における「^き義民^{きんみん}上木^{じやうき}甚兵衛^{しんべい}自賢^{じけん}」の^{せい}生家^{なまけ}であり、父の^{はい}看病^{じやま}に^{わた}新島^{にいじま}に渡った「^{こう}孝子^し三島^{しま}勘左衛門^{かんざゑもん}正英^{まさひで}」の家である。

三島勘左衛門正英像

東京都新島村に、義民、孝子の墓として東京都史跡に指定されている孝子像の複製である。

新島のコーガ石を使い、平成 7 年 11 月、東京都新島村の村長以下 15 名の訪問団が荘川村を訪問した際に寄贈された。義民甚兵衛と孝子勘左衛門の遺徳を偲び、三島家住宅の傍らに安置されている。

平成 7 年 11 月 15 日

荘川村

説明板より